

第5期雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調書

No. 1202011

政策目標	3 のびやか・雄武	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	13 生涯学習・生涯スポーツの推進	事業優先度	B	
単位施策	5 施設・備品の有効活用	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	社会教育事業備品整備事業	見直し年度		
事業期間	平成24年度	担当課	12 教育委員会教育振興課	
事業主体	雄武町	関係課	#N/A	
事業指標	備品購入		#N/A	
事業目標	プロジェクター・ノートパソコン・講演台・デスクライト 各1台	ハード/ソフト 事業区分	1 ハード事業	
住民参加	2	関係例規・法令名	⇒	
住民協働		関係個別計画名		

全体計画 事業内容		平成 20 年度 事業内容	平成 21 年度 事業内容	平成 22 年度 事業内容	平成 23 年度 事業内容	平成 24 年度 事業内容	
計画 内容	備品購入					プロジェクター 1台 ノートパソコン 1台 講演台 1台 デスクライト 1台	
	事業費(千円)	810	0	0	0	810	
計画 事業 費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
一般財源	810					810	
実績 事業 費	事業費(千円)	735	0	0	0	735	
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
その他	0						
一般財源	735					735	
関連 事項	(特定財源の詳細等)		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	
	【評価・実績】		※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果	
			※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果 A-継続/現状維持	
	第4期総合計画関連 (継続無し)	年度目標値					上記備品購入
		年度達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	91%
	全体達成率	0%	0%	0%	0%	91%	
	事業進捗状況					☆☆☆☆	

事業名	社会教育事業備品整備事業	評価者 管理職 職氏名	教育振興課長	横田 和幸
		評価者 作成者 職氏名	生涯教育係長	佐藤 公輔

平成24年度実施
平成25年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民・講演講師	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	プロジェクター・ノートパソコン・講演台・デスクライト更新								
【抱える課題やニーズは】	事業充実に向けた設備の更新	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	購入による環境整備と適切な運用	① プロジェクター・ノートパソコン・講演台・デスクライト更新	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成24年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>1式</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>1式</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>100.0%</td></tr> </table>	目標年度	平成24年度	目標値	1式	実績値	1式	達成度	100.0%
目標年度	平成24年度										
目標値	1式										
実績値	1式										
達成度	100.0%										
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	利用者のニーズに対応した設備の整備	②	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td></td></tr> <tr><td>実績値</td><td></td></tr> <tr><td>達成度</td><td>#DIV/0!%</td></tr> </table>	目標年度	年度	目標値		実績値		達成度	#DIV/0!%
目標年度	年度										
目標値											
実績値											
達成度	#DIV/0!%										
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	講演用備品更新	プロジェクター・ノートパソコン・講演台・デスクライト									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	利用者ニーズ等に対応し、劣化した設備整備を計画的に実施することが必要である。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	研修会・講演会等はパソコンでの資料提供が多いことから、有効な活用が図られた。
有効/概ね有効/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	町内業者による見積合せを行い、適切な事業費で効率的な購入を行った。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	町民にも貸出を行い、自主的な研修会にも活用されている。
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
利用の利便性を向上させることができた。		



終了		
事業の目標を達成したことから、修了とする。		

※展開方向の区分
 ○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 ○終了 ○休止 ○廃止